

青い森鉄道線「目時・八戸間」及び並行在来線「八戸・青森間」の持続的な安定経営に向けて

本県の並行在来線区間（目時・青森間121.9km）は、地域住民の日常生活に欠かすことのできない貴重な足として、極めて重要な役割を担っています。

しかしながら、現在運行中の青い森鉄道線目時・八戸間（25.9km）は、実質的に年間約3億円もの赤字となる非常に厳しい経営状況にあり、今後、青森まで延伸しても引き続き厳しい経営環境におかれることが想定されます。加えて、青森延伸に伴う初期投資等にも多額の県費負担が懸念されるところです。

このため、現在、青い森鉄道線の青森開業と持続可能な経営の実現に向けて、安全・安心を第一義に、最大限の合理的・効率的な運営を目指し、各種準備作業に取り組んでいるところです。

つきましては、本県の並行在来線が、青い森鉄道線として、将来にわたって安定した経営が維持され、沿線住民の利便性が確保されるよう、次の事項について対応されるようお願い申し上げます。

記

- 1 鉄道資産については、無償譲渡若しくは低廉な価格での譲渡とすること
- 2 青い森鉄道線の運行に不要な資産については、解体・除却を行うとともに、譲渡資産については、事前に改修・修繕等の整備を行うこと
- 3 青い森鉄道線に直通乗り入れする寝台特急列車の運行本数の増加等を図ること
- 4 青森開業準備及び運営のために必要なJR出向者の派遣等に協力すること
- 5 青森開業準備のための地元協議会に参加すること

平成18年9月20日

青森県知事 三村 申吾